



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 札

上場会社名 北海道中央バス株式会社  
 コード番号 9085 URL <http://www.chuo-bus.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平尾 一彌

(氏名) 大森 正昭

TEL 0134-24-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,227	△1.1	39	48.7	103	13.1	51	—
23年3月期第2四半期	15,399	△7.0	26	△89.7	91	△71.2	△121	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △88百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △274百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.94	—
23年3月期第2四半期	△4.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	33,452	25,040	74.4
23年3月期	32,818	25,299	76.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 24,892百万円 23年3月期 25,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,340	5.0	700	△8.9	800	△8.9	480	24.7	18.55

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	31,460,000 株	23年3月期	31,460,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,585,776 株	23年3月期	5,037,729 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	26,402,580 株	23年3月期2Q	26,483,522 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しの動きが見られるものの、欧州の財政不安や円高の更なる進行等により、依然として厳しい状況が続きました。道内経済においても、住宅投資等に持ち直しの動きが見られますが、公共投資の減少等により、全国と同様に厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは、地域に密着した営業活動を積極的に展開するとともに、より一層の収支改善に努め、経営体質の強化等に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高15,227百万円（対前年同期比1.1%減）、営業利益39百万円（同48.7%増）、経常利益103百万円（同13.1%増）、四半期純利益51百万円（前年同期は121百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 旅客自動車運送事業

乗合バス部門は、札幌市内における路線の新設や、高速バスにおける増回及び乗車箇所の増設を行うなど、利便性の向上に努めたほか、道内バス会社13社共同で、都市間高速バスの広告宣伝活動を引き続き実施しました。前期に比べ雪解けが早く、バスから自転車への乗り換えが早まったことや、東日本大震災の影響による空港連絡バス等の輸送需要の落ち込みがありましたが、札幌市営地下鉄との乗継割引制度におけるバス事業者の負担解消等により、増収となりました。貸切バス部門は、景気低迷、少子化、旅行形態の変化等に加え、東日本大震災の影響により輸送需要が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は9,915百万円（対前年同期比0.3%増）、営業利益は29百万円（同395.4%増）となりました。

なお、貸切バス部門は、通常の営業形態として夏期が繁忙期であるため、第1四半期及び第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

#### ② 建設業

建設業は、公共事業の予算規模縮小や民間設備投資が低水準で推移したことの影響により、減収となりました。

この結果、売上高は2,970百万円（対前年同期比4.7%減）、営業損失は75百万円（前年同期は142百万円の営業損失）となりました。

#### ③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、契約先の経費削減を背景とした解約や契約内容の見直し等がありましたが、臨時物件を受注したことにより、増収となりました。

この結果、売上高は1,301百万円（対前年同期比1.6%増）となりましたが、営業利益は65百万円（同12.2%減）となりました。

#### ④ 不動産事業

不動産事業は、賃貸料収入が増加し、増収となりました。

この結果、売上高は411百万円（対前年同期比2.4%増）、営業利益は157百万円（同0.7%増）となりました。

#### ⑤ 観光事業

小樽天狗山スキー場は、天候不順によるロープウェイ利用の減少により、減収となりました。ニセコアンヌプリ国際スキー場は、東日本大震災による外国人来場者の減少がある中で、前年並みの収入を確保しました。ホテルニセコいこいの村は、積極的な営業活動を展開したことにより、団体客が増加し、増収となりました。

この結果、売上高は200百万円（対前年同期比0.0%減）、営業損失は146百万円（前年同期は134百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

## ⑥ その他の事業

飲食業においては、既存店舗において、利用客の減少等がありましたが、6月から長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」5店舗の運営を順次開始したことにより、増収となりました。自動車教習所は、授業料収入が減少しました。旅行業は、東日本大震災の影響による団体旅行の中止や延期等がありましたが、新規法人団体を獲得したことにより、前年並みの収入となりました。

この結果、売上高は1,790百万円（対前年同期比0.0%減）、営業利益は22百万円（同45.4%減）となりました。

## (2) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,800	370	450	200	7.57
今回修正予想 (B)	34,340	700	800	480	18.55
増減額 (B - A)	540	330	350	280	—
増減率 (%)	1.6	89.2	77.8	140.0	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	32,718	768	878	385	14.58

## 修正の理由

売上高は、自動車運送事業において東日本大震災後に落ち込んだ旅客需要が想定より早く回復することや、建設業において想定を上回ることなどにより、前回予想を上回る見込みであります。

上記のほか、バス燃料費などの費用が前回予想を下回ることにより、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を上回る見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,323,672	6,229,220
受取手形及び売掛金	2,583,669	2,713,905
有価証券	198,657	83,673
販売用不動産	16,952	7,203
原材料及び貯蔵品	160,845	144,280
未成工事支出金	98,157	831,971
その他	419,951	465,262
貸倒引当金	△1,679	△1,983
流動資産合計	9,800,226	10,473,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,460,861	18,852,090
減価償却累計額	△13,761,639	△13,894,215
建物及び構築物(純額)	4,699,222	4,957,875
車両運搬具	25,440,323	24,590,486
減価償却累計額	△21,691,432	△21,197,568
車両運搬具(純額)	3,748,890	3,392,917
土地	10,684,490	10,754,315
その他	4,240,244	4,355,561
減価償却累計額	△3,771,325	△3,808,082
その他(純額)	468,919	547,478
有形固定資産合計	19,601,523	19,652,587
無形固定資産	69,197	112,356
投資その他の資産		
投資有価証券	2,665,849	2,579,884
その他	717,870	658,191
貸倒引当金	△35,850	△23,679
投資その他の資産合計	3,347,869	3,214,396
固定資産合計	23,018,590	22,979,340
資産合計	32,818,816	33,452,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,633,687	2,200,380
未払法人税等	276,286	208,086
賞与引当金	179,949	251,419
その他の引当金	3,390	21,541
その他	2,009,034	2,428,220
流動負債合計	4,102,347	5,109,648
固定負債		
退職給付引当金	2,359,480	2,331,589
役員退職慰労引当金	250,252	251,175
その他	806,782	720,227
固定負債合計	3,416,514	3,302,992
負債合計	7,518,862	8,412,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	23,232,051	23,137,003
自己株式	△1,145,822	△1,170,948
株主資本合計	24,937,330	24,817,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,512	75,113
その他の包括利益累計額合計	213,512	75,113
少数株主持分	149,110	147,961
純資産合計	25,299,953	25,040,231
負債純資産合計	32,818,816	33,452,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	15,399,225	15,227,817
売上原価	14,275,459	14,095,629
売上総利益	1,123,765	1,132,187
販売費及び一般管理費	1,096,975	1,092,361
営業利益	26,790	39,825
営業外収益		
受取配当金	21,995	21,261
持分法による投資利益	13,443	14,826
その他	30,002	28,067
営業外収益合計	65,440	64,156
営業外費用		
支払利息	670	295
自己株式取得費用	—	169
営業外費用合計	670	464
経常利益	91,560	103,517
特別利益		
固定資産売却益	7,878	8,890
受取保険金	—	27,411
貸倒引当金戻入額	1,765	10,729
その他	74,714	5,156
特別利益合計	84,357	52,187
特別損失		
固定資産除売却損	12,869	19,332
減損損失	10,991	8,140
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	148,200	—
その他	55,868	4,700
特別損失合計	227,930	32,172
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52,012	123,532
法人税、住民税及び事業税	229,144	195,335
法人税等調整額	△158,816	△121,790
法人税等合計	70,327	73,544
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△122,339	49,987
少数株主損失(△)	△435	△1,149
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121,903	51,136

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△122,339	49,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152,411	△138,375
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	△23
その他の包括利益合計	△152,485	△138,398
四半期包括利益	△274,824	△88,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△274,389	△87,262
少数株主に係る四半期包括利益	△435	△1,149

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	旅客自動車 運送事業 (千円)	建設業 (千円)	清掃業・ 警備業 (千円)	不動産事業 (千円)	観光事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	9,868,371	2,907,046	822,448	277,411	194,353	1,158,186	15,227,817	—	15,227,817
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	47,163	63,819	479,286	133,874	6,339	632,461	1,362,945	△1,362,945	—
計	9,915,535	2,970,866	1,301,735	411,285	200,692	1,790,647	16,590,762	△1,362,945	15,227,817
セグメント利益又は セグメント損失(△)	29,058	△75,523	65,120	157,591	△146,540	22,313	52,019	△12,193	39,825

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。